

令和元年度 特別会計の決算

特定の経費を一般のものと区別して処理する会計で、令和元年度は4つの特別会計で黒字になっています。国民健康保険と介護保険では、国の交付金などを精算し、今年度に返済する分を含んでいます。

区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険	64億7,248万円	64億4,140万円	3,108万円
霊園	6,314万円	6,314万円	0円
介護保険	47億0,390万円	46億4,882万円	5,508万円
後期高齢者医療	9億0,326万円	9億0,025万円	301万円

基金 残高 15億0,978万円

市民1人当たり
約3万円

家計で例えると、預貯金に当たります。施設の整備資金など、将来予定している大型事業や、安定した財政運営のために積み立てています。

令和元年度は、財政調整基金や減債基金などを取り崩しました。

◆令和元年度決算額

名称	残高
財政調整基金	2億0,826万円
土地開発基金	5,652万円
減債基金	2億0,236万円
施設営繕基金	2,755万円
義務教育施設整備基金	8,557万円
霊園管理基金	1億2,295万円
その他	8億0,657万円
合計	15億0,978万円

令和元年度 企業会計の決算

使用料収入などにより、独立採算制で運営するための会計で、水道事業会計と下水道事業会計があります。資本的収支の差し引き分は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

収益的収支…事業を運営する収支
資本的収支…施設を整備するための収支
損益勘定留保資金…減価償却費など、現金支出せず内部に留保している資金

区分	収入	支出	差引	
水道	収益的	13億7,428万円	12億5,318万円	1億2,110万円
	資本的	1億9,871万円	3億6,679万円	-1億6,808万円
下水道	収益的	23億5,560万円	23億0,218万円	5,342万円
	資本的	6億5,833万円	12億4,800万円	-5億8,967万円

市債 残高 380億2,355万円

市民1人当たり
約65万円

家計で例えると、住宅ローンなどに当たります。公共施設を整備するためなどに、市が借り入れる長期の借入金です。

令和元年度は一般会計で新たに28億8,410万円を借り入れました。そのうち建設事業に関連する借入額は、前年度より3億1,790万円多い21億5,810万円でした。

◆令和元年度末残高

普通会計	297億4,758万円
一般会計	296億8,505万円
霊園会計	6,253万円
公営企業	82億7,597万円
下水道	71億0,828万円
水道	11億2,705万円
駐車場	4,064万円
合計	380億2,355万円

令和2年度 予算の執行状況

◆予算の収入・支出状況

(9月30日現在)

区分	予算額	収入・支出済額・率	
一般会計	収入	166億4,625万円 47%	
	支出	171億2,705万円 49%	
特別会計	国民健康保険	収入	26億0,176万円 40%
		支出	23億9,306万円 37%
	霊園	収入	947万円 10%
		支出	2,474万円 26%
	介護保険	収入	22億6,518万円 50%
		支出	19億7,390万円 43%
後期高齢者医療	収入	4億1,016万円 44%	
	支出	3億2,088万円 34%	
企業会計	水道	収益的	収入 14億3,591万円 5億7,771万円 40%
		支出	13億4,663万円 3億6,275万円 27%
	資本的	収入	10億0,321万円 0円 0%
		支出	13億0,649万円 1億4,351万円 11%
	下水道	収益的	収入 22億3,070万円 5億7,160万円 26%
		支出	21億7,777万円 2億9,940万円 14%
		資本的	収入 12億9,713万円 3,389万円 3%
		支出	18億9,820万円 4億5,894万円 24%

令和2年度の予算は、ボールパーク構想に係るインフラ整備や子育て支援・社会福祉の充実、安全で安心なまちづくりを重点施策として編成しました。

■一般会計の補正額は、71億2,191万円

新型コロナウイルス感染症拡大防止や特別定額給付金をはじめとした緊急支援、経済対策のための経費などを計上しました。

■特別会計の補正額は、60万円

新型コロナウイルス感染症に感染した方や疑いがある方への傷病手当金の給付に関する経費を、国民健康保険で計上しました。その他の特別会計での補正予算の編成はありませんでした。

◆市税の収納状況

(9月30日現在)

区分	予算額	収入済額・率
一般会計	市民税	個人 24億5,699万円 9億5,909万円 39%
		法人 6億0,635万円 3億7,636万円 62%
	固定資産税	35億9,996万円 23億4,349万円 65%
	その他	11億0,261万円 6億5,604万円 59%
	合計	77億6,591万円 43億3,498万円 56%
特別会計・国民健康保険税	9億8,764万円	3億9,590万円 40%

北広島の財政

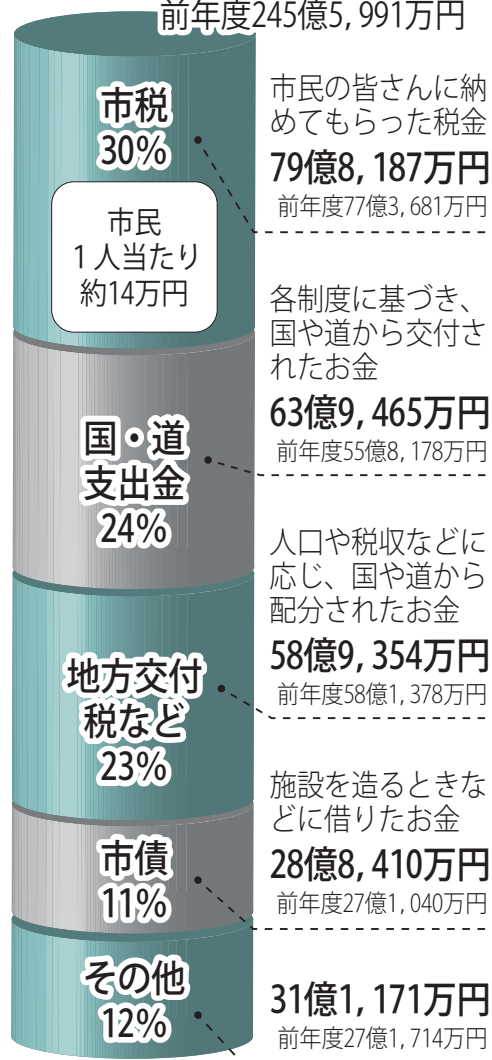
問合せ 財政課 (☎372-3311・内線3612)

*一百万円未満は省略しています。「市民1人当たり(の金額)」は、それぞれの額を下記の人口で割っています。
(令和2年3月31日現在の人口 5万8,147人)

令和元年度 一般会計の決算

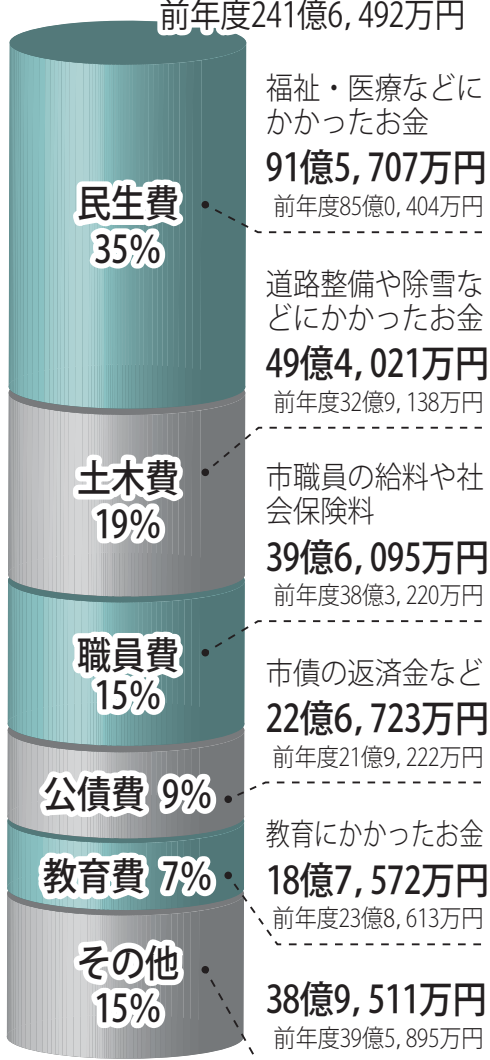
歳入 262億6,587万円

前年度245億5,991万円



歳出 260億9,629万円

前年度241億6,492万円



◆主な使い道◆

ボールパーク構想に係るインフラ整備
16億9,031万円



市民交流広場の整備
1億0,733万円



子ども発達支援センターなどの移転
1億2,244万円



財政は、良好を維持

市の財政状況は、財政健全化判断比率で示されます。4つの指標のいずれかが早期健全化基準を超えた場合などは、財政健全化計画を立てなければなりません。財政再生基準を超えた場合は、国の監督下で財政を立て直すこととなります。公営企業の経営状況は、資金不足比率で示されます。

◆資金不足比率

対象となる会計	北広島市	経営健全化基準
水道	資金不足なし	20.0%
下水道	資金不足なし	20.0%

◆財政健全化判断比率 (数値が低いと良好)

4つの指標	北広島市	早期健全化基準 (イエローカード)	財政再生基準 (レッドカード)
実質赤字比率 (一般会計などの赤字額の割合)	赤字なし	12.93%	20.00%
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字額の割合)	赤字なし	17.93%	30.00%
実質公債費比率 (借金返済額の割合)	4.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率 (将来の借金返済予定額の割合)	91.6%	350.0%	